

大阪 2026 広報会議

広報を核に、シビックプライドを育てる。

広報は、単なる行政情報を発信する仕事ではありません。地域の魅力や人の想いを伝え、住民がまちを好きになり、地域とのつながりを育む「まちのコミュニケーション」です。全国で実践を重ねる広報パーソンが集い、それぞれの経験や課題、これからの自治体広報のあり方を共有し、学び合う場を、大阪の地で実施します。

2026
8.29 土
13:30-16:30 (開場 12:30)

終了後、懇親会を予定。(詳細は申込者に別途通知)

参加無料

定員

60名

会場

守口市東部エリアコミュニティセンター
会議室1・2・3

(大阪府守口市大久保町1丁目南27-6)

【アクセス】

地下鉄・モノレール「大日駅」から京阪バスで「大久保」下車、
会場まで徒歩約7分



会場まで

新大阪駅
伊丹空港

どちらも約 60 分

第1部 基調講演 (13:35 - 14:35)



奈良県生駒市 村田 充弘

「頼めば動く」は勘違い ～10年200人と歩んで見えた、
シビックプライドを育む『関係性』のつくり方～



岐阜県飛騨市 上田 昌子

人口減少時代を生き抜く飛騨市の挑戦
～住民と関係人口をつなぐ広報と実践から～

第2部 パネルディスカッション (14:45 - 16:00)

「広報を核に、シビックプライドをどう育てるか」

基調講演の2名に加え、関西の自治体広報を牽引する広報パーソン
による参加型ディスカッション。

パネリスト



京都府福知山市
宇都宮 萌



兵庫県小野市
常深 千子



元兵庫県川西市
池田 次郎



元奈良県王寺町
村田 大地

モデレーター

終了後 交流・個別相談・閉会 (16:00 - 16:30)

名刺交換や、会場内設置のブースで広報の個別相談も(詳細は裏面)。

大阪広報会議 2026

登壇者紹介



奈良県生駒市
村田 充弘

広報・シティプロモーションに13年従事。広報紙やPRサイト・SNSの運営、市民と協働した情報発信など多岐にわたる広報業務に携わる。担当していた市民PRチーム「いこまち宣伝部」がグッドデザイン賞、PRサイト「グッドサイクルいこま」が自治体広報DXアワードを受賞。教育総務課、広報広聴課を経て、公民連携推進課の課長を務める。市民協働の広報を行なう全国の自治体職員やその街の市民に向けた研修や相談支援も行なう。



岐阜県飛騨市
上田 昌子

介護保険や地域振興分野の業務に携わり、2017年に「飛騨市ファンクラブ」、2020年には「ヒダスケ!」を立ち上げ、まちの関係人口創出を目指して活動。現在は広報プロモーション係で、行政ならではの全分野全方向からの広報を推進。2026年には全国広報コンクールで「内閣総理大臣賞」を受賞。住民と飛騨市ファンをつなぎながら持続可能なまちづくりを進めている。PR TIMES プレスリリースエバンジェリスト。2025年地方公務員アワード受賞。



京都府福知山市
宇都宮 萌

民間企業と公益財団法人を経て、2018年に福知山市役所へ転職。シティプロモーション係にて地元ゆかりの知将・明智光秀からの「謀反のお知らせ」、市民参加型企画「福知山の変」など、市民やクリエイターと協働するPR企画を多数手掛ける。全国広報コンクール特選、シティプロモーションアワード金賞、CAMPFIREアワード特別賞、PRアワードブロンズなど受賞。公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会認定PRプランナー。2025年から広報広聴係。



兵庫県小野市
常深 千子

2017年10月から広報担当。翌年以降4年連続で兵庫県広報コンクール特選、うち2020年の全国広報コンクールで入選3席を受賞。映像や写真でも県コン特選受賞。庁内から80人以上が参画した「ショート動画プロジェクトチーム」を立ち上げ・運営するなど、「職員全員が広報担当」のマインド情勢を図っている他、毎日新聞社主催の広報セミナーやJIAM(全国市町村国際文化研修所)で他自治体に事例を共有している。



元兵庫県川西市
池田 次郎

広報担当時代に全国広報コンクールで広報紙・組写真・企画・映像部門で、読売新聞社賞受賞の他、各コンクールで受賞多数。異動後は広報スキル全般のナレッジシェアを図るため奔走。退職後、合同会社LOCUS BRIDGE CTO・パブリシンプ株式会社取締役役に就任。自治体の広報アドバイザーを務める。PR TIMES プレスリリースエバンジェリスト。日本広報協会広報調査員。2024年地方公務員アワード受賞。Instagramのフォロワーは1万人を超える。



元奈良県王寺町
村田 大地

広報担当として広報紙リニューアル、SNSを整備し全国広報コンクール入選の他、住民アンケート施策満足度1位、広報紙読率約90%の成果につなげた。議会事務局では「議会だより」をリニューアル。「広報×議会改革」の取組はマニフェスト大賞2024議会改革優秀賞を受賞した。退職後、合同会社LOCUS BRIDGE CCOに就任。自治体・議会広報アドバイザーを務める。PR TIMES プレスリリースエバンジェリスト。2025年地方公務員アワード受賞。

広報相談ブース

広報紙、SNS、シティプロモーション等、発信に関する、多岐に渡るお悩みや相談に、合同会社LOCUS BRIDGE COOの林をはじめとする広報のプロがお応えします。「広報紙をみてほしい」「市民協働の最新事例が知りたい」「ひとり担当でつらい」「効果的な情報発信とは」etc、気軽にご利用ください。

相談無料・予約不要

元埼玉県北本市 林 博司



LOCUSBRIDGE とは

元公務員で実績を積んだプロフェッショナルが集うローカスブリッジ。広報紙やウェブサイト、SNSなどの情報発信支援をはじめ、シティプロモーション、ブランド設計、ロゴ・デザイン制作、職員研修、広報戦略の策定まで、自治体広報を幅広くサポートしています。自治体職員として広報やシティプロモーションに携わってきたメンバーが、現場の悩みや庁内調整にも寄り添いながら、企画から実践まで伴走します。

2026年4月大阪営業所 OPEN!!

申込み(締切:8月25日)

参加を希望する方は右記二次元コードからお申込みください→



共催: 合同会社 LOCUS BRIDGE
公益社団法人 日本広報協会
後援: 守口市
問合せ: koho@locusbridge.com

広報を核に、シビックプライドを育てる。